

殺虫剤

登録番号 第24623号

オンコルCR 箱粒剤

(ベンフラカルブ粒剤)



- 有効成分 ベンフラカルブ 6.0%
- 性 状 白色～類白色細粒
- 毒 性 普通物
- 有効年限 5 年
- 包 装 3kg×6 袋／ケース
- 化 管 法 ベンフラカルブ(1種) 6.0%

【特 長】

1. CR (コントロール・リリース) 技術により、は種時から移植当日まで幅広い時期に使用できます。
2. は種時、移植当日処理ともに安定した効果を示します。
3. 幅広いスペクトラムをもち、広範囲の害虫に有効です。

【適用害虫と使用方法】

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数 |
|------------|---|---|-----------------------|---------|-----------------|--------------------|
| 稲 (箱育苗) | イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ヒメトビウンカ セジロウンカ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ | 育苗箱 1箱*当り 50g | は種時 (覆土前) ～移植当日 | 1回 | 育苗箱の上から均一に散布する。 | 1回 |
| | ニカメイチュウ | 高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱1箱*当り 50～100g) | 移植当日 | | | |
| | | 育苗箱 1箱*当り 50g | | | | |

※育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ

【使用上の注意】



1. 本剤を使用した場合には、カルボスルファンを含む剤は使用しないでください。
2. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

3. 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
4. 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ）1 箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整してください。
5. 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
6. 稲苗の葉が濡れている場合薬害が生じやすいので、葉に付着している露を払い落としてから薬剤を散布し、軽く散水してください。
7. 誤って過剰に使用すると褐点や葉先枯れ等の薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。
8. 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけてください。
9. 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけてください。また、深植にならないように注意してください。
10. 本田への移植後低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけてください。また、は種時（覆土前）処理後あるいは移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさけてください。
11. セジロウカに対しては残効性に注意してください。
12. 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
13. 誤食などのないよう注意してください。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ち医師の手当を受けさせてください。
使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
14. ベンフラカルブによる中毒に対しては硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
15. 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などをしてください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

〔貯蔵上の注意〕

直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。